

私の博物誌

題字 石川進

第十一回 「歌の風景」 (後)

二〇一一年九月二十三日は東京シティコンサートホールにて、世界のプリマドンナのコンサートが催されることを知り、妻と二人で飛んで行き、天使の歌声を聴いてトンボ返りをした。佐藤しのぶさんだ。

「花の街」を聴くのが目的だったのだ。彼女の歌声は天から降り注ぎ、全身から溢れ出るオーラと天性の美声、そして弛まぬ鍛錬のしからしむる総合力の厚さ。それらは聴衆を優しく包み、会場は水を打ったように静まり、クリスタルのようだ。江間章子、團伊玖磨の両氏に応え、彼女は全霊で歌った。

佐藤さんは、團先生の主宰するオペラ養成所の愛弟子として猛勉強をした人だった。川越の住居から毎朝教室へ一番乗りをし、掃除を終え教授や級友を迎えたと團先生は書いておられた。彼は生涯に七つのオペラを書き、「夕鶴」の公演は定かではないが一九九六年春に

は、六百二十回を超えていたと記憶する。残念なのは国内でのコンサートさえ一度も聴いてはいないということと、最晩年のトルクメニスタンの公演には同国まで妻と二人で出向き、タクトを振る先生を直に見たい、直に聴きたいと願った夢は既に遅い。

二〇〇〇年四月六日早朝、和子夫人が彼の側に眠りながら急逝された。失意のどん底で書かれたのが「今年の桜」で、読みながら胸が詰まるのを覚えた記憶はまだ新しい。まだまだ。

生前、彼女が夫に言ったという「私位のピアノストは世界に三千人は居るわ、けれどあなたの仕事はあなただけのもの、だから私は家庭に専念するわ」と告げてピアノの蓋を閉じたのだという。

二〇〇一年五月十七日昼、私は手がけていた作業を止して昼食に戻ると、玄関に家内が出て待っていて「あなた、驚かないでね、團先生がお亡くなりになったのよ」と

言った。その払暁零時四十五分、日本時間、同一時四十五分、愛してやまない中国江蘇省、蘇州市の病院で急逝されたのだという。

大食漢の先生は、鰻などは五、六人前は平らげ、カツ丼の上品なものは好まず、駅裏の安食堂のドンブリに盛り上がったやつに、ソースをベチャベチャとかけ、ガツガツと喰い狂うのが良いとも書いておられた。

一九五〇(昭和二十五)年、NHK創立二十五周年記念管弦楽団募集コンクールで、芥川也寸志と共に特賞を受賞する。これは前後に例のない快挙だったのだ。團はこの賞金を得て、世界のオペラ探訪の旅に出る。長いこと家を空け、風の便り

に聞く和子夫人の生活はひどく、湘南の海岸に出て、海藻を拾って生活しているとの知人の話に、僕は泣いたとも書いておられる。

私の精神の杖ともいえる「パイプのけむり」は、このような風景の中に生まれたのだ。

睡眠の為に齧る金平糖、加齢と共に昆布や、するめを齧り、ひどく曲がった右手の人さし指に持った万年筆から、偉大な「パイプのけむり」は生まれた。書齋でペンを走らせる先生の、少しだけラッセル音の入る息遣いが、今尚私には聞こえ、なつかしさがこみあげる。

そして、このけむりだけは私の周囲から決して消えることはない。



数々の名作を遺し、2001年5月、急逝した團先生



最後の音を聞いた
「青空の音を聞いた」(日本経済新聞社 二〇〇二年)



書いている人



石川 進

いしかわ・すすむ

一九四二年、いわき市平生生まれ。石川紋店代表。家業のかたわら、幼少から書に親しむ。書の世界で培った点・線・面と墨・紙・水の生理を追求し、石刻による印とのコラボによる抽象、具象の絵画表現を展開。書学書道史学会会員、書法探求顧問

今日も安全運転

●短期免許取得
●運転免許ローン有
●託児所完備
●卒業生に傷害保険付

公認 湯本自動車学校

いわき市常磐水野谷町千代鶴1の2 ☎43-7781

スタッフ募集

■募集職種・人数
管理栄養士、栄養士……………若干名
調理師、調理補助……………若干名

■応募資格・条件／経験者優遇

■応募方法／電話連絡のうえ、履歴書送付 ※委細面談

●お問い合わせは…
株式会社 テンミールWAKI
〒970-8034 いわき市平上荒川字長尾52-2 第一すずビル203号
TEL.0246-68-8254 / FAX.68-8268

故人を送る厳粛な儀式。祈る心を真心こめて やすらぎの杜遠野がお手伝い致します。

■法事会館及びホール

やすらぎの杜遠野

〒972-0161いわき市遠野町上遠野字赤坂27-1
TEL.0246-89-4777

至入遠野 ●遠野支所 ●上遠野小学校
至御所峠 ●セブナイレブン ●至湯本
●上遠野郵便局 ●ローソン
●看版 ●遠野高校 ●やすらぎの杜遠野
●遠野市民運動場
至楳田